

事業名	SDGs 達成に向けた様々な主体の連携と自律的取組の促進プロジェクト
所管課	市長公室 政策企画部 公民連携担当

活用制度	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）		
事業費	令和 5 年度 77,278 円	交付額	令和 5 年度 38,639 円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○地方創生の実現に向けて、市内の SDGs 認知度の向上や主体間連携および自律的取組の促進等を図る。</p> <p>【具体的な取組内容】</p> <p>○「さかい SDGs 推進プラットフォーム」を構築し、「高校生・大学生」と「中小企業」に対して以下取組を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さかい SDGs 推進プラットフォーム会員交流会を実施（2 回） ・SDGs 達成に向けたプロジェクトチームの推進（1 チーム） <ul style="list-style-type: none"> ※プロジェクトチーム以外の会員との連携実績 65 件 ・さかい SDGs 推進プラットフォーム会員と教育機関を連携し、SDGs に関する課題解決型学習（8 件）、出前授業（14 件）、フィールドワーク（13 件）等を実施 ・市内商業施設等での端材を活用したワークショップ、規格外となった食品を活用したキッチンカーの出店など、さかい SDGs 推進プラットフォーム会員と連携し SDGs イベント（11 件）を実施
------	---

K P I（重要業績評価指標）の実績			
指標名	当初の値	目標値	実績値
プラットフォームの会員数		1,279 者	1,633 者
プラットフォームが組成したプロジェクトチーム		10 チーム	8 チーム
K P I の実績を踏まえた今後の方向性	<p>○プラットフォームに参画する中小企業はSDGsに対して積極的な姿勢であるが、単独企業だけでは自分たちのやりたいことが実現できないことも多いことから、まずは、市（事務局）が主体的に、ニーズを集約し、SDGsをイノベーションの機会ととらえ、ビジネスマッチングに向けたコーディネートに注力し、会員同士のSDGsの取組を継続的に増やす。なお、プロジェクトチームという形式にこだわらず、会員同士の事業を組成し、SDGsの取組を推進する。</p>		

事業名	産学公民共創コンソーシアムによる新産業創出にむけたスマートシティの推進
所管課	市長公室 政策企画部 先進事業担当

活用制度	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）		
事業費	令和 5 年度 9,579,000 円	交付額	令和 5 年度 4,789,500 円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○泉北ニュータウンは 1967 年に開発された関西最大級のニュータウンであり、大阪中心部や関西国際空港への交通利便性や豊富な緑空間を魅力に多くの住宅や公営による住宅が整備されているが、近年は、高齢化や人口減少をはじめとするオールドタウン化が進行している。 ○こうした中、堺市では 2021 年に、泉北ニュータウン地域の新たな指針として「SENBOKU New Design を策定し、持続発展するまちを実現する新たな視点として、「スマートシティの推進」や「職住近接型のライフスタイル」等を掲げている。 ○泉北ニュータウン地域にて、民間事業者・大学の取組と地域課題の解決に資する複数の事業を実施し、新たな産業が創出される基盤を整備し、いわゆるベッドタウンであり優良な労働力の供給源であった当該地域を「仕事が生み出されるエリア、仕事があるエリア」に転換することで、昼間人口を中心に、当該地域で活動する人口の涵養をめざす。 <p>【具体的な取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヘルスケア（健康増進、見守り）、デジタル・デバイドのような行政の課題を市が提示し、解決できるソリューションを持つ民間事業者を公募し、市と負担金協定を締結し単なる実証事業に終わらない複数年にわたる実装事業を展開（公募型案件の実施含め 28 件） ○公民連携、大学との連携を中心とした事業に市から支援を実施（1 件） ○大阪府へ都市 OS の構築費用の堺市負担分を拠出 ○堺市と民間事業者で組成するプロジェクトのうち、都市 OS の連携をみすえたサービスの実施に対して、実証費用の一部を市から負担（2 件）

K P I（重要業績評価指標）の実績			
指標名	当初の値	目標値	実績値
本事業に関連する関連事業の企業拠点（事務所、研究所、サテライトオフィス等）進出数		8 件	6 件
新規雇用者数（店舗や事業所等）		46 人	46 人
実証プロジェクトの数		51 件	56 件
K P I の実績を踏まえた今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○拠点整備の支援、プロジェクトの創出支援などにより、泉北ニュータウン地域での産業創出にむけた基盤の整備と機運醸成を行うことができた。 ○今後は、自治体と民間事業者によるプロジェクトだけでなく、民間事業者同士、民間事業者と大学など、複数の関係者間による事業創出を加速するために、SENBOKUスマートシティコンソーシアムの活性化に取り組む。 		

事業名	中百舌鳥エリアにおけるイノベーション創出拠点形成によるまちづくり
所管課	建築都市局 都市整備部 中百舌鳥・拠点整備担当

活用制度	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）		
事業費	令和5年度 8,000,000円	交付額	令和5年度 4,000,000円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中百舌鳥エリアは、大阪メトロ・南海電気鉄道・泉北高速鉄道の交通結節点であり、新大阪・大阪・難波などの大阪都心部へのアクセス性、大学、産業支援機関の集積により、南大阪を代表するビジネスに適したロケーションである。 ○産業、研究機関、人が集い、最先端テクノロジーとビジネスを創造する次世代クラスターの形成、新たなイノベーションに出会い、つながりを楽しめるエリアをコンセプトとしており、当地域がイノベーション創出のリーディングエリアとして発展し、中百舌鳥エリア全体の活性化をめざすため、産学官が相互に知恵を出し合い協力・連携できるプラットフォームとして設立した「NAKAMOZU イノベーション創出コンソーシアム」を運営する。
	<p>【具体的な取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○北部エリアがめざす「人を呼び込み」「交流を生み出し」「ビジネスを育てる」エリアの実現に向け、北部エリアにおける土地活用の方向性の機能配置案をもとにした土地利用を試験的に作り出し、課題の抽出や市民ニーズの把握、集客性向上の観点からエリアのポテンシャルを確認するため、実証実験を実施 ○北部エリアの土地活用検討における懸念事項や要望等を抽出するため、関係権利者（地上権、建物所有権）との意見交換を目的とした権利者部会や個別ヒアリングを実施 ○中百舌鳥発のエコシステム形成を目的に、新しい価値や社会課題の解決をもたらすイノベーションの果たす役割や堺市での事例・中百舌鳥におけるイノベーション創出に向けた取組を、イノベーション創出の担い手となる市内外・全国の事業者に向け発信 ○コンソーシアムで作成するレポートの発行やSNS等によりコンソーシアムの取組等について情報発信

K P I（重要業績評価指標）の実績			
指標名	当初の値	目標値	実績値
新設されたオフィス等の床面積		450 m ²	764 m ²
(株)さかい新事業創造センターにおけるハンズオン型のスタートアップ・ベンチャー支援の総数	90 件	176 件	203 件
K P Iの実績を踏まえた今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○設定したKPIについて、両指標とも目標値を達成できた。 ○北部エリアにおける土地活用方針を踏まえ、民間活力を活用した事業スキーム等の検討や民間ヒアリング等、土地活用の実現性を高めるための取組を行う。 ○堺市におけるイノベーションの事例や中百舌鳥エリアにおけるイノベーション創出に向けた取組、コンソーシアムの取組等の情報発信により、「中百舌鳥」の知名度向上やコンソーシアム会員等の取組意欲の向上、更なる機運醸成を図る。 		

事業名	地域の生産性向上に向けた地域産業重層化促進事業
所管課	産業振興局 産業戦略部 産業企画課

活用制度	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）		
事業費	令和5年度 27,895,294円	交付額	令和5年度 13,947,647円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○豊かな地域経済の未来を切り拓くために、イノベーションを創出し、既存産業の厚みをベースに雇用などの地域経済の基盤を守り、新たな社会課題への挑戦を通じて産業の可能性を引き出し、地域活性化を図る。</p>
	<p>【具体的な取組内容】</p> <p>○地域社会の課題解決に熱意のある事業者を対象に、セミナーやワークショップを通じたハンズオン支援により新たな事業構築の支援に取り組んだ。（セミナー1回、ワークショップ12回）</p> <p>○本市産業支援機関である（公財）堺市産業振興センターへサービス業支援に強みを持つコーディネーターを配置するほか、民間事業者のノウハウを最大限活用したサービス事業者のアウトリーチ型経営支援に取り組んだ。（市内サービス事業者へのアプローチ299件）</p> <p>○女性の潜在的求職者を対象にサークル活動やイベントを行い、求職への意欲を喚起し、本市就職支援機関である「さかいJOBステーション」の新規登録に繋げた。また、人材不足を課題とし、女性雇用に向けた取組を行う市内企業に、コンサルティングを行った。（さかいJOBステーションにつないだ件数：216件 支援企業：3社）</p>

KPI（重要業績評価指標）の実績

指標名	当初の値	目標値	実績値
イノベーション創出につながる事業数	13 事業	54 事業	56 事業
イノベーションのロールモデル創出件数		20 件	17 件
市内サービス事業者への経営支援件数		694 件	643 件
女性の就業率	49.8%	51.1%	54.6%

**K P I の実績
を踏まえた
今後の方向性**

- 引き続き事業者のフェーズに合わせた最適な支援を行うことにより、イノベーション創出につながる事業創出を実現する。
- 継続して、サービス事業者へのアプローチを行うことにあわせて、課題を抱える事業者や、新たなチャレンジを行う事業者に対し伴走支援を行うことで市内サービス事業者の付加価値の向上を図る。
- 他の就職支援事業等との連携を強化し、女性就業率の向上につながる、効果的な事業運用を図る。

事業名	交流・共創によるイノベーション・コミュニティ形成事業
所管課	産業振興局 産業戦略部 中百舌鳥イノベーション創出拠点担当

活用制度	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）		
事業費	令和5年度 17,412,000円	交付額	令和5年度 8,706,000円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○起業家、スタートアップ、中小企業やその支援者、地域・社会のステークホルダーなど市内外から多様な人が集まり、交流するイノベーション交流拠点「cha-shitsu」の運営を通じ中百舌鳥エリアからのイノベーションの連続的な創出を実現する。</p>
	<p>【具体的な取組内容】</p> <p>○交流拠点にコミュニティマネージャー2名を配置。来場者への積極的なコミュニケーションを通じニーズの把握を行い、必要な支援等へのマッチングを実施。</p> <p>○起業に向けた機運醸成や起業家コミュニティの醸成に向け、月1回のランチ交流会を実施。また、学生等若者の起業への機運醸成に向け、比較的年齢の近い起業家を招いたレセプションマルシェのほか、企業のPR講座やchat-GPT講座などビジネススキル向上に向けたイベントを実施した。</p> <p>○オンラインコミュニティを活用して市内事業者が創出したイノベーション事例のPRやオンライン上での交流イベントを定期的実施した。</p>

KPI（重要業績評価指標）の実績			
指標名	当初の値	目標値	実績値
イノベーション創出につながる事業数	15件	35件	37件
交流・共創によるマッチング数	15件	55件	22件
交流・共創につながるコンテンツ提供数	12件	36件	77件
コミュニティに参加する新規事業者数		100者	443者

**K P I の実績
を踏まえた
今後の方向性**

- 引き続き、交流拠点利用者の詳細なニーズ把握や積極的なコミュニケーションを図ることより、適切な支援やマッチング事例の創出につなげていく。
- 各種イベント開催などを通じて、起業家や中小企業、学生や若者、子育て世代女性など多様な主体によるコミュニティを形成することで交流・共創を促し、イノベーション創出につながる事業創出を実現する。

事業名	第2期堺市まち・ひと・しごと創生推進事業
所管課	財政局 財政部 資金課

活用制度	地方創生応援税制		
事業費	令和5年度 64,431,315 円	寄附額	令和5年度 42,811,856 円

事業概要	<p>【背景・目的】</p> <p>○今後、人口減少に伴い、労働力人口の減少が見込まれ、人手不足の深刻化による新規事業への展開や成長への制約、事業規模の維持や技能伝承が困難になりかねない状況が予測され厳しい都市経営が予想される。</p> <p>○そのような中、歴史資源や文化の魅力創出による交流人口の創出、エリアのポテンシャルを活かしたまちの活性化、子育て支援や厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実、心身ともに健康で輝きながら暮らし続けることができる健康・福祉の充実、イノベーションの創出や民間投資の誘導などにより、将来にわたり持続的に発展する都市経営を図る。</p>
	<p>【地方創生応援税制を活用した具体的な取組内容】</p> <p>○堺の特色ある歴史文化と強くしなやかな都市基盤を推進する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SENBOKU スマートシティ構想推進事業 3,100,000 円 ・堺エコライフポイント事業 1,311,856 円 <p>○人や企業を惹きつける都市魅力を推進する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪公立大学協創推進事業 38,100,000 円 ・アントレプレナーシップ教育プログラム 200,000 円 ・社会課題解決型プロジェクト創出事業 100,000 円

K P I（重要業績評価指標）の実績			
指標名	当初の値	目標値	実績値
来訪者数（大仙公園 エリア+環濠エリア）	212 万人	330 万人 （令和6年度）	205.5 万人
年少人口 （0～14歳）	105,127 人	97,825 人 （令和6年度）	96,131 人

健康寿命	男性：71.46 年 女性：73.60 年	男性：73.19 年 女性：76.19 年 (令和 6 年度)	男性：72.82 年 女性：74.46 年
事業従事者 1 人当たり付加価値額※	508万円	526 万円 (令和 6 年度)	467 万円

※経済センサス活動調査の数値